

# 緑化だより

No.58 平成23年1・2月合併号



秋の緑化写真コンクール特選 黒瀬正一『落葉拾い』

新年は、1月4日からの開園となります。本年もよろしくお祈いします。

- きのこユーモラスネーミング
- 庭木の手入れ
- 樹のあれこれ

- 研修会報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# きのこユーモラスネーミング

## 外国編(10) 『Oyster Mushroom 牡蠣茸』

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もありますが、4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“牡蠣茸”と呼ばれているキノコは日本ではヒラタケのことです。牡蠣とつけられたのは、牡蠣のように美味であるということからか、または牡蠣の色合いと似ているからなのか、あるいは両方かもしれません。

和名は平茸といい、生長すると傘の形が扁平になるのでそのように名づけられたようです。

発生時期は晩秋～春で、寒い時期なので寒茸(かんたけ)とも呼ばれています。成長すれば15～20cmにもなるので、その大きさと時期的な珍しさで新聞などで取り上げられることもあります。

このヒラタケ、白こぶ病といってヒダに白色こぶ状の菌糸塊ができることがあります。キノコバエの仲間が運ぶ線虫の一種がキノコに入り込み、この線虫を消化しようとして菌糸塊を作るのです。このことからヒラタケは肉食キノコとも言われます。



牡蠣に似る？ヒラタケ

## 庭木の手入れ

### 『1、2月の手入れ』

新しい年になり、暮れに行った手入れとまた違ったすがすがしい気持ちで庭や木をみてください。全体がきれいさっぱりとしていることが大切です。次いで、個々の植物を観察しましょう。梅やあせびの花芽は膨らみ、活気を感じさせてくれます。もし色艶に勢いが感じられないようであれば、原因を探しましょう。

12月から2月中旬まで植物は、休眠に入っていますが、この時期の作業として病虫害対策、寒肥、やり残した剪定などがあります。

#### ◎病虫害対策

虫による被害があればまず捕殺をします。捕殺で足りない場合は、殺虫剤処理をします。カイガラムシであれば、マシン油乳剤がよく効きます。この場合他の薬剤との混用は避けてください。病気があれば2月一杯まで石灰硫黄合剤を、予防も含めて使用できます。ウドンコ病やスス病があれば見苦しいだけでなく木も弱りますので殺菌剤を散布します。

#### ◎寒肥

昨年秋以降に施肥をしていない場合は、寒肥を与えましょう。1、2月は最適の時期です。特に、桜、梅、桃やボケなど花をつける樹種に、効果が大きいようです。また、葉や実にとっても寒肥は有効です。寒肥には油粕と、発酵鶏糞か骨粉を半分ずつ混ぜて与えます。

#### ◎その他

移植や植え付けは、暖帯性の樹種を除いてほとんどが可能になりますが、樹種ごとに対応が多少異なりますので、注意してください。

# 樹のあれこれ

スギ(スギ科スギ属)、ヒノキ(ヒノキ科ヒノキ属)

スギ、ヒノキは日本の林業を代表する木材資源の重要な樹木です。材木を目的とする人工林として各地で植林され、その面積は日本全土の約12%を占めています。

スギは、その性質から湿潤地を好むので山腹から谷間に、ヒノキは尾根側に植え分けされてきました。両種とも日本固有で人工的に植えられたものが大半です。各地に巨樹・巨木が点在していますが、特にスギの巨樹が多く、屋久島の縄文杉は樹高30m・幹周16mにも達し、推定樹齢は2500年とも3000年とも言われています。

国の天然記念物は972件あり、その内植物の登録件数は537件になりますが、スギは最も多い45件登録されています(2006年4月1日現在)。その中に矢立スギと呼ばれるものがあります。これは、神を祀って切り残され大きくなったスギの森が、人の目印になり、人の目印になるような木は神の目印にもなり、結果的に神木として祀られるようになったことに端を発します。その神木に、戦(いくさ)前に矢を射立て、神の加護を祈念する習わしができ、それが矢立スギと呼ばれるようになりました。

式年遷宮と呼ばれ、20年毎に造営される伊勢神宮の社殿(次回は平成25年予定)は、ヒノキを材料としますが、これは古代からの神話にちなんだ伝統に則ったものです。「日本書紀」によると、スサノオノミコトのひげがスギ、胸の毛がヒノキ、尻の毛がマキ、眉の毛がクスノキとなり、ヒノキは宮殿に使うことが示されています。

スギは、真っ直ぐに生長する、すくすくと生長する木の意、直(すぐ)な木・直木(すなおき)が訛ったと言われています。ヒノキは、火の木の意で、火おこしに用いたことによります。



ヒノキ 葉と球果 H21.9.6



スギ 葉と雄花 H21.2.5

## 研修会報告

12月3日(金) 『クリスマスリース作り』

講師 緑化センター職員 佐々木 輝美

毎年人気の研修会。リピーターの方も多く、早くから定員になりました。参加者には、それだけ熱意を感じ、それは材料選びからすでに出ていました。

約1時間半、和気あいあいと作業するグループの方、かたや黙々と作業する方など、それぞれのスタンスで作業を行い、その後成果発表として1人ずつ作品とテーマを披露して頂きました。



# 研修会・イベント紹介

## 1月6日(木) 春の七草を学んで食べよう

10:00~12:00 学習室 講師 森林インストラクター 長井 稔 先生  
春の七草を学んで食べて、お正月に疲れた胃腸を癒しましょう。

## 2月11日(金) 2月の自然探勝

10:00~12:00 管理事務所前集合 講師 緑化センター職員 正本 良忠  
毎月恒例の自然観察会です。 (※都合により、講師が変更になりました)

## 2月20日(日) 山野草寄植教室

10:00~12:00 学習室 講師 森林インストラクター 長井 稔 先生  
節分草・雪割草を寄せ植えしましょう。

(※要予約 先着30名様 材料費1500円 予約受付は、1/4からです)

## 2月27日(日) ジャンボしいたけ植菌教室

10:00~12:00 学習室 講師 日本きのこセンター 入江 淳人 先生  
ジャンボしいたけを育ててみませんか。 (※要予約 定員に達しました)

## 3月5日(土) 早春のバードウォッチング

9:00~12:00 管理事務所前集合 講師 日鳥連会員 吉見 良一 先生  
緑化センターの野鳥を観察しましょう。 (※参加者は、双眼鏡持参のこと)

## 3月11日(金) 3月の自然探勝

10:00~12:00 管理事務所前集合 講師 未確定  
毎月恒例の自然観察会です。

## 3月23日(水) 早春の樹木を見て歩こう

10:00~12:00 管理事務所前集合 講師 植物研究家 清藤 徹 先生  
植物が芽吹き、花を咲かせる季節がやってきます。そんな季節の植物を観察します。



昨年の

「春の七草を学んで食べよう」



昨年の「山野草寄植教室」



昨年の

「ジャンボしいたけ植菌教室」



木彫り『あすなる会』作品展

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### ◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

秋の緑化写真コンクール作品展 前月より継続~1月16日(日)

木彫り『あすなる会』作品展 前月より継続 ~2月27日(日)

緑化ポスター原画コンクール入賞作品展 1月20日(木)~2月18日(金)

押し花展 2月22日(火)~3月27日(日)

### ◎ レストハウスの年末年始営業について

年内は12月26日(日)まで、年始は1月5日(水)からとします。勝手ではございますが、緑化センターの開園日とは異なりますので、ご注意ください。

### ◎ 合格祈願『お守り』の無料配布

ヤマコウバシの合格祈願お守りを無料配布しています。入学試験等のお守りにいかがでしょうか。(数量限定ですので、お早めに)

### ◎ 冬期は、積雪・凍結にお気をつけ下さい

場所、時間により積雪や凍結しますので気をつけてお越し下さい。



表

裏